

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

第1回目 R7年5月30日 10:00 ~ 10:20

康保会乳児保育所

1. 活動のテーマ

テーマ

影で遊んでみよう

テーマの設定理由

外遊びの際に、地面に映る陰を不思議そうに見たり、触ろうとしているなどの興味を示していたので色々な影をみてどのような興味関心を示すか

2. 活動スケジュール

外遊びの際に、身近な玩具などを使用し、色々な影を映して影当てクイズをしたり、自分の体(手、足、全身)を使って影を写して遊ぶ。(雨天の場合:懐中電灯を使用しての影遊び)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

動物の形をした木製積み木
型抜きしたボール紙にセロハンを貼ったもの
アニマルライト(紙コップに絵を描いたラップを貼ったもの)
懐中電灯 テーブル

4. 探求活動の実践

活動の内容

雨天だった為、室内にて懐中電灯を使用した影遊びを行う。
初めに保育士が懐中電灯の説明を行い、懐中電灯の光を壁や天井に当てたり、保育士の体に光を当てて影をつくるのを見せる。
子どもたちに懐中電灯を持ってもらい、自由に光を当てて遊ぶ。
カラーセロハンを使って色つきの影を作って遊ぶ アニマルライトで遊ぶ。

活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり

・懐中電灯に興味を示し、一人1本ずつ持つと、壁や天井に光をあてて、光の動きを楽しそうに追っていた。
・カラーセロハンを使用した際は、壁に映る色や形を見て「赤!」「ハートだ」と映った色や形を教えてくれた。
・アニマルライトは、片手にコップ片手に懐中電灯を持って壁に映すので、最初は上手く映せなかったが、保育士が介助しながら伝えると、後半は子ども達だけで映す事が出来き、懐中電灯をコップの中で押したり引いたりして、影の大きさを変えて遊んでいた。
・アニマルライトの「いちご」のイラストが人気で、何度も交代して映して遊んでいた。

活動中の様子



5. 振り返り

振り返りによって得た保育士の気づき

- ・最初は部屋を暗くすると子ども達が怖がるかと思い、部屋の電灯を点けたままで遊んで見たが、暗くしても懐中電灯に夢中になっていて、怖がる子がいなかった。
- ・一人1本ずつ懐中電灯を持って遊べ、自分がやりたいものを選んで遊ぶ事が出来た。
- ・アニマルライトのイラストは動物、食べ物、のりものだったが、対象児が興味あるイラストを事前に聞かずに準備したので、次回は子ども達が今興味ある物のイラストを準備するとより楽しめる。
- ・懐中電灯の種類もバラバラだったので、今回使用してみて子ども達が使いやすい物を購入する。
- ・今回の対象児(2歳児)が6名だったが、次回は交代制にして、多くの子ども達に体験してもらうようにする。
- ・次回は天候が良ければ外遊びの際に実施し、自然光との違いも体験してもらう。